

市民との意見交換会・報告書

開催日時	平成 20年 8月 31日（日） 午前 10時 00分 ~ 午前 11時 48分	
開催地区	日新	
開催場所	日新コミュニティセンター	
出席議員 （第 2 班）	出席者	荒井義隆、大竹俊哉、土屋隆、斎藤基雄、木村政司
	欠席者	戸川稔朗
参加者数	18名	
主な意見・提 言・要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）生涯学習総合センターの建設地は、他の場所を考えるべきだったのではないか。 ・（仮称）生涯学習総合センターの入札不調は問題だ。補正予算の金額が大きすぎるし、内容を市は市民に明らかにすべきだ。資材高騰が理由というが、入札の前に工事価格を積算し直すべきだったし、議会も独自に調査すべきだったのではないか。 ・議会基本条例によって会派を越えた横の線が出てきたことはいいことだ。これをさらに強めて、市の方向性について共通の認識を持って活動を進めてもらいたい。市の財政を市民も心配している。次の意見交換会では、各議員が会津若松市をどのような方向に持っていきたいと思っているのか話してもらいたい。 ・日新地区では環境美化や、ウォーキングなどの保健活動に積極的に取り組んでいる。環境美化などは行政から言われてではなく、平成 6 年から自主的に取り組んでいる。下の方からの住民のさまざまな取り組みが進むよう、議会のほうでも力を出してほしい。 ・後期高齢者医療制度が始まったが、市民の意識や生活実態からかけ離れた制度だ。国民年金だけを収入源としている市民が、毎日どんな生活をしているのかを考えてほしい。 ・議員報酬は、会津若松市をよくするために矢祭町のように日当制にすべきだ。そのような提起は議会で具体的に出していないのか。 ・広報議会で、議案に対する個々の議員の賛否の態度が出ていることはいいことだ。 ・常勤監査に、いつのころからか市の幹部職員がなっているのは問題だ。一般市民から選ぶべきである。 	